



鍋山小学校

だより

～なかよく 勉強 やる気 まっしぐら～

5月号 令和5年5月19日

校長

《 全校「なかよし遠足」に出かけました 》

ゴールデンウィークの合間となった5月1日に、全校みんなで明石緑が丘公園へ遠足に出かけました。公園では少々風が強く、小雨も降った時間もありましたが、行き帰りは天気も良く、歩きやすい道中でした。

事前の「なかよし集会」では、班ごとに遠足のめあてを話し合って決めていました。「チームワークを大切にすること」、「班で協力すること」「自分たちのペースを守ること」「最後まであきらめないこと」など、それぞれめあてをもって活動しました。

行き帰り往復8kmの歩きは、上り下りもあるのでとても大変だったと思いますが、班の友達同士で声を掛け合い、助け合いながら「チームワーク」で全員が最後まで歩くことができました。

公園では「空き缶積み」「ジェスチャークイズ」「尻文字クイズ」などの班対抗ゲームをしたり、6年生が主催して「全校鬼ごっこ」をしたりして、たくさん体を動かして楽しい時間を過ごしました。

また、遠足と言えば「弁当」と「おやつ」。食べている時の子ども達は、みんな幸せそうでした。やはり、おうちの人が作ってくれた弁当は、いつも食べている給食よりずいぶんおいしく感じるのでしょうか。

ゲームの結果発表や活動の振り返りをした後、使った場所の後始末をしっかりとしました。社会性やマナーなどの「ふるまい」を身に付けるのも、校外学習の大切な目的です。学年ごとに手分けをして、来たときよりも公園をきれいにしました。

縦割り班で、異学年一緒に遠足や校外学習に出かけることができるのは、小規模校の鍋山小学校ならではの事です。こうした中で、上学年の子は下学年の子への気遣いや優しさを身に付け、下学年の子は上学年の子のふるまい方を手本とすると同時に、憧れを抱くことができます。

遠足で経験した「がんばり」や「助け合い」、「思いやり」が、今後のなべっ子の活動にさらに活かされていくことを楽しみにしています。



《 稚鮎の放流と「水辺の教室」を行いました 》

4月28日に、斐伊川漁協鍋山支部の皆さんにお世話になり、稚鮎の放流体験をさせていただきました。

まず、体育館で川の生き物や鮎の生態などについて教えていただいたり、漁で使う投網を披露していただいたりしました。

そのあと、三刀屋川に移動して稚鮎の放流を行いました。子ども達はトラックからバケツに移された小さな鮎を、なかよし班ごとに協力して川辺まで運び、そっと水の中に入れていました。元気に追いかけていたり時々水面上で飛び跳ねたりしながら川上に泳いでいく子どもの鮎を、なべっ子も優しい表情で、嬉しそうな声を上げながら見送っていました。

夏には大きくなって、鍋山の川にたくさんの鮎が戻ってきてくれることを願っています。

漁協の皆様（〇〇〇〇さん、〇〇〇〇さん、〇〇〇〇さん、〇〇〇〇さん、〇〇〇さん、〇〇〇〇さん、〇〇〇〇さん）、お世話になりありがとうございました。



《 交通安全教室を行いました 》

低学年は4月25日に、中高学年は5月16日に、雲南警察署のおまわりさんに来ていただき「交通安全教室」を行いました。

低学年は、教室でお話を聞いた後、主に横断歩道の渡り方を練習しました。雨の中で傘を差しながらでしたが、子ども達は手の代わりに傘を高く掲げ、横断歩道を落ち着いて渡ることができていました。

中高学年は、自転車の点検や安全な乗り方について、おまわりさんの話を聴きました。乗る前に必ず車体を確認したり、ヘルメットのあごひもをしっかりと締めたりすることについて確認できました。また、実車では8の字コースやジグザグコース、障害物をよけること、急停車することなどの練習をしました。

これから気候もよくなり、戸外で遊ぶこと、道路を歩いたり自転車に乗ったりすることも増えると思います。ぜひ、今回学んだことを忘れず、「自分の身は自分で守る」意識で安全な生活を送ってほしいと思います。

地域の皆様にも、引き続き道路等で子ども達の見守りをよろしくお願いいたします。

